

課・タイトル	L9 ちゅういや しじを きく
ねらい	日常生活で周りの人に注意や指示をされたとき、その内容がわかり、注意した人や指示をした人へ適切に対応できる。

パート	L9-1 そこに すてないで ください		
できること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの捨て方などの注意がわかり、謝ることができる。</li> <li>・大家さんにごみの捨て方などのきまりを聞くことができる。</li> </ul>		
場面設定	留学生のタンさんがアパートのごみ捨て場でプラスチックのごみを捨てようとしたとき、大家の西川さんが来て、捨てる場所が違うと注意をします。西川さんはごみ回収のスケジュール表を見せて、いつ何を捨てるか伝えます。		
場面会話	<p><b>用意するもの</b></p> <p>ごみ数種(紙ごみ、プラスチック容器、ジュースの空き缶、ピン、生ごみなど)の絵 プラスチック容器を入れたごみ袋 段ボールの箱4つ(それぞれに「もえるごみ」「プラスチック」「ピン」「カン」等の絵を貼る) * 地域のごみの捨て方に合わせてください。</p> <p><b>指導のポイント</b></p> <p>・場面会話に入る前に、ごみ数種と段ボールで作ったごみ箱を見せて、いつ捨てるか、どこに捨てるか、などについて話します。その際に、「プラスチック」「生ごみ」「もえるごみ」「ピン」「カン」などの言葉を導入します。</p> <p>場面会話の1コマ目のように段ボール箱のごみ箱を並べて、場面会話のセリフを言う練習をします。</p> <p>ここでは指示の「～ないでください」「～てください」を学習します。実際に指示を出しているような表情や態度、声調で発話するように指導してください。</p> <p>注意を受けたときの対応の仕方も学びます。「はい、わかりました。すみません。」を言うときの声のトーンや表情、態度など、話し方に十分注意させてください。</p>		
練習1	<p><b>用意するもの</b></p> <p>すてないで ください    とらないで ください    さわらないで ください    のことばカード2組</p> <p>* 1組は「ないでください」の部分だけ色を変えます。</p> <p>基本動詞のない形フラッシュカード数組</p> <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>たべます</td></tr> <tr><td>たべない</td></tr> </table> <p style="margin-left: 20px;">A4 サイズの紙に、左のように書いて、半分に追って使うと便利です。</p> <p>基本動詞 + 既習動詞およびその課の新出動詞の絵カード</p> <p>* 基本動詞はL7授業のヒントに記載</p> <p>ハンバーガーの絵、辞書、かぎ1本、ビニール傘数本</p> <p>「～ないでください」</p> <p><b>テキスト p.180</b> ①</p> <p>1コマ目の絵を見せて、会話を言わせませす。セリフを見せて、「すてないでください」に注目させ、「すてないでください」のことばカードを絵の近くに貼ります。</p>	たべます	たべない
たべます			
たべない			

続いて、①のモデル会話の絵を見せて、意味を確認させた後、モデル会話を聞かせて、リピートさせます。2人組にしてモデル会話を言わせます。「とらないでください」「さわらないでください」のこぼカードを見せて確認させた後、「～ない」の部分の色を変えたこぼカードをそれぞれ、モデル会話の絵の近くに貼り、「ない形+でください」であることを確認させます。

その後、動詞ない形のフラッシュカードを使って、動詞ます形を見てない形を言う練習をします。ない形が作れることを確認したら、同じフラッシュカードを使って、まず、動詞ない形を見せて、「～ないでください」の形を言わせます。次に、動詞ます形を見せて、「～ないでください」の形を言わせます。その後、4人組にして、グループで「ます形」を見て、「～ないでください」の形で言う練習をさせます。

動詞ます形から「～ないでください」が作れるようになったら、「中にはありません」「ドアをあけません」「外へでません」「ここへきません」のような文を「～ないでください」に言い換える練習をさせます。

### テキスト p.180 ②～⑤

「～ないでください」がスムーズに産出できるようになったら、イラストを見せて状況を確認した後、②③④は2人組、⑤は3人組にして会話を練習させ、発表をさせます。発表するときは用意した実物や絵を使って会話をさせます。②～⑤の中から発表したいものを選ばせるといいでしょう。また、②の先生役の人には少し強めに発話させますが、③④⑤は好意的なトーンで「～ないでください」を言わせます。③は「明日辞書を使いますよ。」と言ってから「明日辞書を忘れないでくださいね。」と言わせてもいいでしょう。

## 練習2

### 用意するもの

すてて ください みて ください だして ください すてます みます だします のこぼカード

\*「～て」の部分だけ色を変えます。

ます形 て形 のこぼカード、て のカード3枚(赤字)

基本動詞た形フラッシュカード1組、基本動詞て形フラッシュカード数組

たべます
たべた

たべます
たべて

基本動詞の絵カード

### 動詞て形の導入

#### テキスト p.181 ②①

場面会話の2コマ目、4コマ目、5コマ目を見せて、会話をさせ、モデル会話を聞かせてリピートさせます。続いて、「すててください」「みてください」「だしてください」に注目させ、こぼカードを見せて確認させた後、「～て」の部分の色が変えてあるこぼカードをそれぞれの絵の近くに貼ります。「すてて」「みて」「だして」に注目させ、その下に「すてます」「みます」「だします」のこぼカードを貼ります。「すてます」「みます」「だします」の近くに「ます形」のこぼカードを貼ります。その後、「すてて」「みて」「だして」の「て」に注目させ、「て形」のこぼカードを貼ります。

### 動詞て形の作り方

#### テキスト p.181 ②①

「すてます」「みます」「だします」のた形は？」と問いかけて、学生に答えさせます。学生がた形を言ったら、「すてて」「みて」「だして」のこぼカードの下に「すてた」「みた」「だした」のこぼカードを貼っていきます。上下を見比べさせた後、「すてた」「みた」「だした」の「た」の上に「て」のカードを重ねていき、「た」を「て」に

	<p>変えればよいことを示します。</p> <p>続いて、動詞た形のフラッシュカードを使って、ます形をた形に活用する練習をします。2グループから始めて、3グループ、1グループとグループ別に練習し、その後、グループを混ぜて練習をします。た形が作れることが確認できたら、次に、動詞て形のフラッシュカードを使って、ます形を見て、た形を言った後でて形を言う練習をします。グループ別に練習をした後、グループを混ぜて練習します。慣れてきたら、ます形から直接て形を言わせます。4人組にして、動詞て形のフラッシュカードを配布し、グループでます形からて形に活用する練習をさせます。できるようになったら、1)～4)の絵カードを見て、て形を言わせ、さらに、基本動詞の絵カードを使って、同様の練習をさせます。</p> <p><b>テキスト p.181-182</b> ②～⑤</p> <p>②のイラストを見せて、医者が患者に注意をしているところであることを確認させた後、2人組にして会話をさせます。イラストの内容以外の注意もするように指示して、発表させるといいでしょう。</p> <p>③～⑤のイラストを見せて、場面を確認した後、2人組にして会話をさせます。各ペアで発表する場面を選んで、発表させます。</p>
練習3	<p><b>用意するもの</b></p> <p>8時までに げつつままでに 8時45分までに のことばカード、～までに の文型カード</p> <p>「～までに」</p> <p><b>テキスト p.182</b> ①～③</p> <p>場面会話の5コマ目を見せて、会話をさせます。「8時までにお願いします。」に注目させ、「8時までに」のことばカードを貼ります。同様に、p.181 ③のイラストを見せて、会話をさせ、「げつつままでに」のことばカードを貼ります。続いて、p.182 ③のイラストを見せて、モデル会話を聞かせ、リピートさせます。「8時45分までに」のことばカードを貼ります。それぞれ、8時を過ぎてはいけない、月末を過ぎてはいけない、8時45分を過ぎてはいけない、ことを確認したうえで、「～までに」の文型カードを貼ります。①～③のイラストを見せて、意味を確認させ、2人組にして会話をさせ、発表させます。</p>
はなしましょう	<p><b>用意するもの</b></p> <p>寮の案内に見立てた紙、自転車に見立てた椅子、カメラ、紙コップ、お菓子、教科書、ノート、スマホ</p> <p><b>できますか？</b></p> <p>シンさんが自分の寮に帰ります。寮の入り口に自転車をとめようとしたら、管理人が出てきて、そこにとめてはいけないと言い、とめる場所へ連れて行って、ここにとめるようにと指示をします。その後、シンさんは寮の管理人に朝ご飯の時間を聞きます。管理人は朝食は6時から8時までだと答え、寮の案内を渡します。渡された案内を見て、シンさんは洗濯が10時までだということを管理人に確認します。管理人はそうだと答え、さらに、夜は大きい声で話してはいけないと伝えます。</p> <p><b>じゆうにはなしましょう</b></p> <p>①は、美術館で絵をみながら写真をとったり、食べたりしている来場者に美術館員が注意をします。</p> <p>②は、食堂で勉強をしたり、寝たり、たばこを吸ったりしている人に食堂の人が注意をします。</p> <p>どちらも禁止の表示を示しながら、館内、店内のルールを相手に確認させる場面です。禁止マークを指し</p>

	て話すように指導してください。
--	-----------------

<b>パート</b>	<b>L9-2 じしよを つかってはいけません</b>		
<b>できること</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験のときの注意を聞いてわかる。</li> <li>・先生や係りの人などにルールやしてもいいことについて簡単に聞くことができる。</li> </ul>		
<b>場面設定</b>	日本語学校の教室です。今日はこれからテストです。青木先生が学生にテストをすると伝え、テストの注意をします。		
<b>場面会話</b>	<p><b>用意するもの</b></p> <p>テスト用紙に見立てた紙数枚、教科書、かばん、ボールペン、鉛筆、電子辞書</p> <p>「喫煙禁止」「飲食禁止」「ケータイ禁止」など、教室内の禁止事項のマーク</p> <p><b>指導のポイント</b></p> <p>授業を始める前に、教室の禁止事項のマークを貼っておきます。</p> <p>「～てはいけません」が禁止事項を伝える表現であることがわかるように、禁止マークを示しながら「～てはいけません」と言わせませす。</p> <p>道具を表す「～で」はわかりやすいので、時間をかけなくてもいいでしょう。</p>		
<b>練習1</b>	<p><b>用意するもの</b></p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">かいてはいけません</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">はなしてはいけません</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">つかってはいけません</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">すってはいけません</span> のことばカード</p> <p>*「かいて」「はなして」「つかって」「すって」と「はいけません」の文字は色を変えるといいでしょう。</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ここで たばこを すってはいけません</span> のことばカード</p> <p>「喫煙禁止」「飲食禁止」「ケータイ禁止」「走るの禁止」「大声で話すの禁止」のマーク</p> <p>基本動詞＋この課の新出動詞のて形フラッシュカード数組</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>たべます</td></tr> <tr><td>たべて</td></tr> </table> <p>菓子、たばこに見立てた紙</p> <p><b>「～てはいけません」</b></p> <p><b>テキスト p.186</b>①</p> <p>授業開始前に喫煙禁止、飲食禁止、ケータイ禁止のマークを教室に貼っておきます。</p> <p>場面会話2コマ目、4コマ目の絵を見せて、会話をさせます。セリフを文字で見せた後、「ボールペンで書いてはいけません」「となりの人と話してはいけません」「つかってはいけません」に注目させ、「かいてはいけません」「はなしてはいけません」「つかってはいけません」のことばカードを貼ります。それぞれ、手を交差させて×を示し、禁止事項であることを確認します。</p> <p>続いて、①のモデル会話の絵を見せて、状況を確認した後、音声を聞かせて、リピートさせます。左の人物のセリフに注目させ、「ここでたばこをすってはいけません」のことばカードを貼り、確認させます。続いて、先に貼ったことばカードの「かいて」「はなして」「つかって」の部分に注目させます。さらに「すってはいけません」のカードを示して、「て形＋はいけません」という形であることと、禁止マークを示して、意味が禁止であることを確認させます。</p> <p>て形はL9-1で学習したばかりですから、まず、動詞て形のフラッシュカードを使って、ます形をて形に活用する練習をさせます。て形ができたら、次は、ます形を見て「～てはいけません」の形に変換する練習をさせ</p>	たべます	たべて
たべます			
たべて			

	<p>せませす。クラス全体で練習した後、3～4人組にして動詞で形のフラッシュカードを配布して、グループで練習をさせませす。</p> <p>その後、1)～4)の絵を見せて、絵の状況を確認した後、2人組にして代入練習をさせませす。数組に発表をさせませす。注意をする人は、1)～4)の絵の禁止マークを指さして、禁止事項を伝えていることを態度で示しながら、発話させませす。</p> <p>さらに、教師が「おなかがすきましたね。」と言って、食べ物を取り出して、食べようとしてみせて、学習者に「先生、食べてはいけません。」と言わせませす。さらに、たばこを吸おうとするふり、ケータイを使おうとするふりをして、学習者に「先生、たばこをすってはいけません。」「ケータイを使っはてはいけません。」と言わせるといいでしよ。</p> <p><b>テキスト p.186</b>②～④</p> <p>まず②の絵を見せて、警官が何を言うか考えて言わせ、3人組にして会話をさせませす。続いて、③の絵を見せて状況を確認した後、3人組で会話をさせませす。警官、先生役の学習者には厳しい表情で注意させませす。注意された人には、「はい」とか「すみません」と言わせませす。②と③の会話を、2、3組ずつ発表させませす。</p> <p>続いて、④の絵を見せ、病院の待合室であること、待っている人が何をしているかを確認した後、走るの禁止マーク、大声で話すの禁止マークを絵の近くに貼ります。看護師がそれぞれの人に何と言って注意をするかを考えさせませす。できれば6人組にして、会話をさせた後、発表をさせませす。看護師役の学習者には禁止マークを指さしながら相手に注意するように指示させませす。少し厳しい表情で、子供には諭すような言い方、大人には注意を喚起するような言い方をさせませす。</p>
練習2	<p><b>用意するもの</b></p> <p>じしよをつかってもいいですか たばこをすってもいいですか</p> <p>はい、すってもいいです いいえ、すってはいけません</p> <p>つかってもいいですか すってもいいですか つかってもいいです すってもいいです のことばカード</p> <p>*「つかって」「すって」と「もいいですか」「もいいです」は文字の色を変えるといいいでしよ。</p> <p>「飲食禁止」「撮影禁止」「うさぎに触るの禁止」「ケータイ禁止」のマーク</p> <p>基本動詞+この課の新出動詞のて形フラッシュカード数組(練習1で使用したのもの)</p> <p>「～てもいいですか」「～てもいいです」「～てはいけません」</p> <p><b>テキスト p.187</b>①</p> <p>場面会話3コマ目を見せて、会話をさせませす。セリフを見せて、「じしよをつかってもいいですか」に注目させ、「じしよをつかってもいいですか」のことばカードを貼ります。続いて、①の絵を見せて、モデル会話を聞かせてレポートさせませす。「たばこをすってもいいですか」「すってもいいです」「すってはいけません」のことばカードを貼って、「てもいいです」「てはいけません」に注目させませす。</p> <p>次に、動詞で形のフラッシュカードを使って、ます形を見せて「～てもいいですか」の形に変換する練習をさせませす。同様に、ます形を見せて「～てもいいです」の形に変換する練習をさせませす。クラス全体で練習した後、3、4人組にして動詞で形のフラッシュカードを配布して、グループで練習をさせませす。</p> <p>その後、1)～4)の絵を見せて、2人組にして、まず、「～てもいいですか」「はい、～てもいいです」の形で会話の練習をさせませす。続いて、「～てもいいですか」「いいえ、～てはいけません」の形で練習させませす。</p>

	<p>す。</p> <p>それぞれの禁止のマークを教室内に貼っておく、あるいは職員役や看護師役の学習者にマークを持たせて、それを指し示しながら言わせるといいでしょう。</p> <p><b>テキスト p.187-188</b> ②～⑥</p> <p>練習②～④は「～でもいいですか」の質問に対して「～はいけません」「～でもいいです」と答える練習ですが、⑤は指示、⑥は問題解決のための提案をするときの「～でもいいですよ」という使い方の練習です。それぞれ絵を見せて、2人組にして会話を練習させて、発表させてください。</p>
<b>練習3</b>	<p><b>用意するもの</b></p> <p>ボールペンで書いてはいけません <input type="checkbox"/> えんぴつで書いてください <input type="checkbox"/> のことばカード、<input type="checkbox"/> のカード(赤字)2枚</p> <p><b>「【道具】で～」</b></p> <p><b>テキスト p.188</b> ①</p> <p>場面会話2コマ目の絵を見せて、会話をさせます。「ボールペンで書いてはいけません」「えんぴつで書いてください」のことばカードを貼ります。それぞれのカードの「で」の上に、赤の「で」のカードを貼って、注目させます。p.188 ③のモデル会話の絵を見せて、モデル会話を聞かせて、リピートさせます。</p> <p>①の絵を見せて、2人組にして、会話をさせて、発表させます。</p> <p>②の絵を見せて、3、4人のグループにして、会話をさせます。クラス全体で、自分の国では何で食べるかを言わせます。</p>
<b>はなしましょう</b>	<p><b>用意するもの</b></p> <p>申込書に見立てた紙、鉛筆、ボールペン</p> <p><b>できますか？</b></p> <p>スポーツジムの受付でラマさんが申し込みをしています。受付の人がラマさんに申込書を書くように言います。ラマさんが鉛筆で書こうとすると、受付の人はボールペンで書いてくださいと言います。ラマさんは書き始めますが、漢字が難しいので、受付の人にひらがなで書いてもいいかと聞きます。受付の人はいいと答えます。</p> <p><b>これもできますか？</b></p> <p>学校で先生が課外活動の説明をしています。先生は、明日9時に出発するので、8時45分までに来るよと言います。また、山の上は寒いので、セーターを持ってくるように、そして、お弁当を持ってくるよと言います。すると、学生が昼食はレストランで食べてもいいかと聞きます。先生は、山の上にレストランはないのでお弁当を持ってくるよにと答えます。</p>

<b>パート</b>	<b>L9-3 きょうかしょを 見て います</b>
<b>できること</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生の注意を聞いてわかる。</li> <li>・他の人が何をしているか伝えることができる。</li> </ul>
<b>場面設定</b>	日本語学校の教室です。テストが終わりました。後ろの席の学生キムさんがテストを集めて前に来ます。キムさんはまだ書いている学生や、そのとなりで教科書を見ている学生を見つけて先生に言いつけます。
<b>場面会話</b>	<p><b>用意するもの</b></p> <p>テスト用紙数枚、鉛筆3本、教科書</p>

	<p><b>指導のポイント</b></p> <p>特記事項なし</p>
<p><b>練習1</b></p>	<p><b>用意するもの</b></p> <p>タンさんがまだ書いています ラマさんがきょうかしょを見ているか いま何をしていますか そうじをしています</p> <p>シンさんいますか テレビを見ているか のことばカード、～ています の文型カード</p> <p>基本動詞＋この課の新出動詞のて形フラッシュカード数組(練習1で使用したもの)</p> <p>ワインに見立てたペットボトル、紙コップ2つ、電話、パソコン、ノート、かばん</p> <p>「～ています」</p> <p><b>テキスト p.192</b>①</p> <p>場面会話2コマ目の絵を見せて、会話をさせます。セリフを見せて、「タンさんがまだ書いています」に注目させ、ことばカードを貼ります。続いて3コマ目の絵を見せて、会話をさせます。セリフを見せて、「ラマさんがきょうかしょを見ているか」に注目させ、ことばカードを貼ります。次に、①のモデル会話の絵を見せて、モデル会話を聞かせてリピートさせます。「いま何をしていますか」「そうじをしています」のことばカードを貼って、「～ています」に注目させ、文型カードを貼ります。「～て」がて形であることを確認し、動詞て形のフラッシュカードを使って、ます形を見せて「～ています」の形に変換する練習をさせます。クラス全体で練習した後、3～4人組にして動詞て形のフラッシュカードを配布して、グループで練習をさせます。</p> <p>その後、1)～3)の絵を見せて、代入練習をします。</p> <p><b>テキスト p.192</b>②</p> <p>②のモデル会話の絵を見せて、モデル会話を聞かせてリピートさせます。「シンさんいますか」「テレビを見ているか」に注目させ、ことばカードを貼ります。続いて、学習者を2人組にして、モデル会話のように1)～4)の人物が何をしているかを言う練習をします。</p> <p><b>テキスト p.192-193</b>③④⑤</p> <p>学習者を3人組にして、③④の絵を見て会話を考えて、発表させます。⑤は2人組で練習し、発表させます。それぞれ、用意した小道具を使って、演じて発表させるといいでしょう。</p>
<p><b>練習2</b></p>	<p><b>用意するもの</b></p> <p>タンさんがまだ書いています もう時間ですよ タンさんがまだゲームをしています</p> <p>もうゲームをやめてください まだ もう のことばカード</p> <p>携帯電話、パン、イヤホン、かばん3つ、パソコン</p> <p><b>テキスト p.193</b>①②③</p> <p>場面会話2コマ目の絵を見せて、会話をさせます。セリフを見せて、「タンさんがまだ書いています」のことばカードを貼り、「まだ」に注目させます。続いて、①の絵を見せて、モデル会話を聞かせ、リピートさせます。「もう時間ですよ」のことばカードを貼り、「もう」に注目させます。続いて、1)～3)の絵を見せて、代入練習をします。「まだ」「もう」のことばカードを貼ります。</p> <p>次に、②の絵を見せて、学習者を3人組にして会話を考えて、演じて発表させます。同様に③を2人組で練習させます。</p>

<p><b>はなしましょう</b></p>	<p><b>用意するもの</b> スマホ</p> <p><b>できますか？</b> 学校で休み時間が終わりました。先生が授業を始めますと言いますが、学生は聞いていません。ラマさんはまだアニメを見ていて、サラさんとマリさんはおしゃべりをしています。それを見て、タンさんが先生に言いつけます。先生はラマさんを叱ります。</p> <p><b>じゆうにはなしましょう</b> 寮です。AさんがCさんに会いに寮に来ます。Bさんは玄関に出て、Cさんを呼びに行きます。Bさんは玄関に戻ってきて、Cさんの様子を伝えて、すぐに出てこれないと言います。</p>
<p><b>アクティビティ</b> —</p>	<p><b>用意するもの</b> ペットボトル、アルミ缶、衣類などのマーク</p> <p><b>しらべましょう</b> 身の回りの品物についているマークの意味を調べて紹介し合います。</p> <p><b>いいましょう</b> 自分でマークを作ります。そのマークを見せながら、意味をみんなに紹介します。</p>
<p><b>よみましょう</b></p>	<p><b>指導のポイント</b> なぞなぞです。1～5をまず一人でやってみて、できたら、学習者同士で考えたことを言わせて、答えを話し合わせます。</p>
<p><b>かきましょう</b></p>	<p><b>指導のポイント</b> 「よみましょう」に続いて、自分でクイズを作ります。できたら、2人組にして互いに読み合って、答えを考えさせます。よくわからないところ、文が適切でないところを考えて、直させた後で、クラス全体でできたクイズを読んで考えさせます。</p>